

新たなスタートに立たせてくれた韓国ホームステイ—世界に通じる力を育てる—第 99 号

メルマガご愛読の皆様、こんにちは。

NPO 法人多言語広場(ピアザ)CELULAS の尾本です。(以下セルラスと表記します)

2/2(日)に関東では「セミナリオ」という今年のセルラスの方向性をみんなで確認する年始の会が開かれました。(関西では昨日 9 日に開催されました！)

そこで、12 月末に韓国家族ホームステイ交流に行かれたあるお母さんの報告を聞きました。

彼女は韓国ホームステイに向けて子供たちと一緒に準備し、そしてそれらが大きな変化をもたらしたことを話してくれました。

今回はその報告をまとめて記事とさせていただきます。

時間の関係でその時には話として出なかった内容も含まれています。

聞いていない方だけでなく、一度聞いた方もじっくりとお読みいただきたい内容です。

できましたらご家族でお読みになって、感想を話し合ったりしてみてください。

子どもたちからも、思わぬ感想が出てくるかもしれませんよ。

『家族で取り組むことで起こった変化』

厚木市在住 村瀬絹子さん 家族構成：夫・娘(小 3)・娘(小 1)・娘(年少)

私たちが本気で韓国ホームステイをやってみようと思ったのは、夏休みに韓国のソフィア(お母さん)、アイン、チイン(双子の女の子)親子をホームステイで受け入れしたことがきっかけでした。

子どもたちは、会ってすぐに仲良くなって、ことばは「んー」「あー」だけなのに、鬼ごっこや、リカちゃんごっこをケラケラと笑い合いながら遊んでいました。

私も、ソフィアと話すのが楽しくて、会話のたびに自然に笑っていました。

そんな彼女たちと再び会いたくて、年末の韓国家族交流に参加する決心をしました。

【始めは…】

韓国行きを決めた後、まず子供たちに目標を聞きました。すると、彼女たちは

「アインやチインともっと楽しく遊びたいから、韓国語話せるようになって会いにいきたい！」

と、キラキラした目で答えました。

そこで、寝る前にロールプレイ(※1)とシャドウイング(※2)をやることにしました。

でも、寝る前で疲れているし、それまでは車の中でシャドウイングするくらいだったので、始めは毎回グダグダで、私 1 人が頑張ろうとキリキリしていて、楽しくありませんでした。

元々、うちの子供たちは人前で話すことが不得手で、私の後ろに隠れたりする感じでした。

そのような感じの子供たちにとって、この状況が続いたら、韓国ホームステイ自体にプレッシャーを感じて、行くのが嫌になってしまうかもしれないと心配になりました。

そこで、子供たちにとって場面の想像がしやすい『食事・韓国編(※3)』のお話を取り組んでみようと思い、ピアザ(※4)のメンバーにも一緒にやってくれるようお願いしました。

※1) ロールプレイ：多言語活動の 1 つ。物語をより立体化させるために、物語に出てくる人の感情や、風景などを自分たちで想像し、それを表現する。

※2) シャドウイング：ネイティブの音声を聞きながら、同時にそれを声に出していくこと。

※3) 食事・韓国編：セルラスオリジナルストーリーブックの中のお話の 1 つ。

※4) ピアザ：週に 1 回、各地域でメンバーが集まり、一緒に多言語活動を行う場。

【気づき→成長】

ピアザのメンバーは私が気付かないような細かい変化も見逃さず、「すご〜い！」と認めてくれて、私もそれを聞いて、「本当だ。成長している。」と感じ、その頃から私たちのことばの上達が加速していきました。家でも積極的に韓国語を使うようになり、私が食事を出しながら「マ〜ニ モゴヤデ〜(たくさん食べてね)」と言うと、子供たちはニヤニヤしながら「チャルモケスムニダ〜(いただきます)」と会話を続けるようになりました。寝る前のロールプレイやシャドウイングは、いつの間にか子どもたちのほうから「やりたい」と言うようになって、気づけばほぼ毎日するようになっていました。

【出発～波乱、そして充実】

そして、「あとは楽しむしかないでしょー」という気分で韓国に出発しました。にもかかわらず、ホストのアイン、チインがインフルエンザになってしまい、会えないかもしれないと聞かされ、目の前が真っ暗になりました。そんな私たちを、受入れ団体である LEX YOUTH KOREA 事務局のチャイホンさんが、急遽ホームステイを受け入れてくれ、温かく、そして自分の孫のように娘たちを見守ってくれ、人って本当に温かいなとじんわり心がほぐれていきました。

インフルエンザの新薬を投与したアインとチインは、驚くべきことに2日目には回復し、その日の夜にはソフィア宅にホームステイに行くことができました。子どもも私も大喜びで、ソフィアたちと対面できた時は思わず涙が出てきました。その時ソフィアの旦那さんの YOBU さんが、「ここを我が家だと思って楽しんでください！」と言ってくれました。実はほとんど聞き取れなかったのに、なぜか何を言っているのかがイメージとして理解できました。こんなことがホームステイ中、何度もあって、ことばでなく、人と人が向き合うと通じ合えるのだと実感しました。1日足りなかった分、時間はあっという間だったけれど、より関係が深まり、満たされた気持ちで、最終日に再会を誓い合いました。

【自信→能動的な行動へ】

帰国後、子どもたちの中で、「もっといろんな人とお話ししたい！」という想いが芽生えたのか、長女は、学校のスペイン語を話す子に、自分の知っているスペイン語で話しかけ、そのことをピアザのみんなの前で、韓国語で報告しました。そしてロールプレイが始まると、ウキウキしながら「こうしよう〜」とアイデアを出して積極的にやっている姿を見て、「子供たちにとってロールプレイの時間は、私と一緒に遊ぶ時間なんだ…。」と思いました。さらに、そんな風にロールプレイを楽しんで、CDを聴くと、ふと場面を楽しんでいる自分に気がつきました。今までは、『どんな音か』だけを聞いていて、『場面を楽しむ』という感じで聞いてはいませんでした。ですから、そんな風に音を聴けるようになったことが、とても新鮮な感覚でした。

こんな風に、子供たちが自発的に動くようになってたり、自分の変化や成長に気づくことができたのは、私たち親子のスモールステップをピアザメンバーが1つ1つ見つけてくれたこと、そして、親子で共通の目標に向けて、たくさんの事を話し合い、一緒に行動したことが影響していると思っています。

今回、国を越えて素晴らしい友人を作れたこと、沢山の人の支えてもらったことは私達を新たなスタートに立たせてくれたように思います。

これからさらに多言語を学び、いろいろな人と向き合っていくことが楽しみでなりません。

いかがでしたでしょうか？

私たちは「ことばの活動」を行っていますので、常に「ことば=日常」ということを理解はしていますが、定期的に再認識する必要があるのかもしれないね。

特に「日常=家庭」である子供たちにとっては、家族で一緒に取り組むことで、より自然に様々な言語を習得し、そこから多くの学びを得ることで、「学ぶ」ということの本質につながっていくのではないかと感じました。

<セルラスインフォメーション>

◆メルマガ感想キャンペーン

セルラスメルマガがまもなく記念すべき100号になろうとしています。

そこで今回、過去のメルマガを読んだ感想を広報のアドレスに送って下さった方には、

『セルラステ製多言語スタンプ』をお送りさせていただきます。

スタンプはいくつかありますが、感想文1つにつき、1個のスタンプを送らせていただきます。

送っていただいた感想文はメルマガ100号に掲載させていただく可能性がありますので、ご了承ください。

お名前等は個人情報の保護の関係で、基本伏せさせていただきますが、掲載してもいいという方は、メール本文にお名前もご記入ください。(イニシャルなども可)

たくさんのご感想をお待ちしております。

過去のメルマガをご覧になりたい方はコチラ

http://celulas.or.jp/?page_id=377

メルマガの感想はこちらへお送りください。

kouhou@celulas.or.jp

◆春の講演会「世界に通じる力を育てる」が各地で行われます。

まだ参加したことのないご家族お友だちにぜひご紹介ください。

▼関東

●厚木市

2月28日(金) 10:00~12:00

3月5日(木) 10:00~12:00

会場：両日とも厚木市文化会館

●品川区

4月16日(木)9:45~11:45 きゅりあん

4月21日(火)9:45~11:45 スクエア荏原

▼関西

●宝塚市

2月17日(月)10:00~12:00

2月18日(火)10:00~12:00

会場：両日とも宝塚市立男女共同参画センター「エル」

●天王寺

2月20日(木)10:15~12:15

2月21日(金)10:15~12:15

会場：両日とも大阪市立天王寺区民センター

●明石

3月17日(火)10:00~12:00

3月18日(水)10:00~12:00

会場：両日ともウイズ明石

お申し込みはホームページ <http://www.celulas.or.jp> または本部事務局 03-5333-8202

info@celulas.or.jp までご連絡ください。